

平成22年度病害虫発生予報第11号(2月予報)

今月のピックアップ

ミナミアオカメムシ（水稻）

学名： *Nezara viridula*



生態と被害

本種は斑点米カメムシの一種で、全発育ステージを水田内で経過し、登熟はじめから収穫直前まで加害して被害を与える。成虫の体長は12-16mmで、写真のような前胸前縁部に白色帯を呈する個体のほか、全身が光沢の乏しい緑色の個体や、緑斑を有する個体などの色彩型がある。イネでは、卵は止葉の表面に平均50-100個を数列に配列して卵塊として産付する。幼虫は5齢を経て成虫になるが、1齢幼虫はほとんど摂食せず卵殻上に集合して過ごし、2齢幼虫になって吸汁をはじめめる。本種はまた、水稻以外にも32科145種の植物を吸汁する広食性のカメムシとしても知られている。

<http://www3.pref.okinawa.jp/site/view/cateview.jsp?cateid=119>